

「第4次日野市地球温暖化対策実行計画（素案）」に対する意見募集の結果について
 （意見の結果と市の考え方、計画への反映方針）

1 パブリックコメント募集の実施概要

- 【意見募集期間】 令和3年12月1日（水）から令和4年1月5日（水）まで
- 【周知方法】 市ホームページ、広報ひの及びLINEによる配信
- 【閲覧場所】 七生支所、豊田駅連絡所、市内図書館、市政図書室及び環境保全課窓口
- 【受付方法】 郵送、電子メール及び環境保全課窓口へ持参

2 計画（素案）への意見

【募集結果】 提案者数 6名、意見等件数 34件

項番	素案該当項目 《該当ページ》	意見及びその概要	市の考え方	計画への反映について
1	p0(表紙)	個人的には地球温暖化対策に取り組もうと意欲のわくイメージの写真的ほうがよいように感じました。（悪いというわけではありませんが、手前のマンションにフォーカスがいつってしまうので）	ご指摘ありがとうございます。日野市の地域特性を活かしたより良い写真がないか改めて検討いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。
2	p3	二酸化炭素排出量実質0を目指すならば、国の目標2030年までに46%では低すぎる。世界平均50%～60%以上（2010年度比）に設定すべき。	世界各国の排出量及び基準年が異なるため、これらに準拠した目標の設定は困難です。日野市は2050年実質0を目指すうえで、国の2030年までに二酸化炭素排出量46%削減を妥当な数値と考え採用しました。2050年二酸化炭素排出量実質0を目指し、これに向け、可能な取組みを実施してまいります。	市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただき、計画素案の変更等はいりません。
3	p3	①グラフですが、基準年から2050年に線を引き、その過程から割り出した削減目標であることが伝わる工夫（22ページのように）と出典の記載があったほうがよいと感じます。 ②国の目標値と同じですが基準年が異なります。その説明を加えていただきたいです。 ③国の目標値では2050年ゼロ達成は難しいと専門家は指摘しています。不断の見直しが必要ですが、せめて現時点においても「46%以上」と「以上」をいれてほしいです。	①国の目標値である2030年までに二酸化炭素46%削減を採用したこと、また目標が伝わりやすくなる表現を記載します。 ②基準年が異なることについて記述します。 ③ご指摘いただいたとおり、国は2030年までの二酸化炭素46%削減と発表しておりますが、同時に更なる高みへ挑戦することも発表しております。46%ではなく、それ以上を目指すため、46%以上へ修正いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。
4	p10	「CO2排出量ランキングワースト5位」とありますが、「日本は悪い国」という誤解を生む表現だと思いました。このグラフは国別の排出量を客観的な数値で示しているものであり、ベスト-ワーストのように主観的な良し悪しを測るものではありません。このグラフから読めるのは「日本はCO2排出量が国別で5番目に多い（全体の3.2%を占める）」というだけです。	ご指摘のとおり、日本が二酸化炭素排出量が国別で5番目に多いという内容へ修正いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。
5	p11	p11で示された過去数年の排出量減少の要因について、どの部門の努力が削減に寄与したのか分からないので追記いただきたいです。それを踏まえてp12で家庭部門の寄与を踏まえた記述があるとよりよいと考えます。具体的には、「過去数年での家庭部門の削減は多い→家庭部門の全体への寄与は大きいので、さらなる削減していきましょう。」や「過去数年での家庭部門の削減は横ばい→家庭部門の全体への寄与は小さいので、ちゃんと削減していきましょう」などの展開があると、市民活動の後押しになるのではないかと考えます。	日野市での部門別二酸化炭素排出量は、産業・運輸部門での削減量が多く、家庭部門での排出量は増減を繰り返しております。ご指摘いただいた内容をもとに、記述を修正いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。
6	p12	市民一人ひとりが二酸化炭素排出削減に向けた行動を実践するため、環境教育を通じた意識啓発が重要な取り組みと考えています。省エネ教育の重要性や有効性を発表することが、省エネ教育の普及や環境意識の向上に貢献できると考えています。	ご指摘のとおり、環境教育を通じた意識啓発が重要な取組みであると考えます。いただいたご意見のとおり、省エネ教育の重要性や有効性を発表できるよう運用してまいります。	市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただき、計画素案の変更等はいりません。
7	p20	リード文とイメージ図が合っていないように感じます。施策の体系（地球温暖化対策実行計画は市環境基本計画の下に部門別計画として位置付ける、など）についての記述が必要と考えます。説明文を読んだ上でのイメージ図、という流れだとより分かりやすくなります。	リード文・イメージ図・タイトルをあわせて修正いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。
8	p20	タイトルでは「削減策」、イメージ図では「緩和策」と齟齬があります。いずれかに統一する必要がありますかと思いました。	二酸化炭素削減策を地球温暖化への緩和策ととらえております。タイトルを分かりやすくなるよう修正いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。
9	p20	適応策の例に、6章の2に記載のある災害の事例も追記いただくとよいと思います。	項番5に示すとおりです	左記のとおり、計画へ反映します。
10	p20	地球温暖化問題解決へ、とありますが、「解決」は誇大な表現に感じました。対応や対処といった言葉の方が良いように思います。	ご指摘のとおり、「地球温暖化問題解決」ではなく、「地球温暖化問題へ対応」と内容を修正いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。

11	p20	①イメージ図の緩和策・適応策の例示が（省エネに）偏っているので、対策として必要な例示の見直しをお願いしたいです。 ②この章か次の章でもよいのですが、市が発行している「CO2シール」等の取り組みについて記載してほしいです。よくポストにはってあるのを見かけます。	①イメージ図の例について見直しを行います。 ②「CO2シール」は啓発活動の一環として使用していた物品になります。現在は使用しておりません。周知啓発についてはより効果的なものを検討いたします。	①左記のとおり、計画へ反映します。 ②市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただき、計画素案の変更等は行いません。
12	p21	災害発生後も都市機能を維持できるよう、平時の環境負荷軽減と災害時にも事業継続できるよう、多様な発電手段を用いたエネルギーの確保に向けた取り組みが必要だと考えます。災害による備えとして、災害のみならず、通常時においても活用できるエネルギーの導入を検討し、電源の自立化・多重化によるエネルギー確保が重要だと考えています。	ご指摘のとおり、災害時にも事業継続できるよう、また災害時のみならず通常時においても活用できるようなエネルギーの確保、電源の自立化・多重化が必要だと考えます。地球温暖化の観点から、各施設へ増加する災害への設備を含めた適応策を促していきます。	市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただき、計画素案の変更等は行いません。
13	p21	施設全体として効果的な維持管理を行う上で、光熱費を含めたライフサイクルコストが適正となるよう、公共施設のエネルギーをガス・電気を適正な割合で合わせることを重要だと考えます。	ご指摘にもありますライフサイクルコストの重要性同様、二酸化炭素排出削減も重要であると考え、バランスのとれたエネルギー推進を促します。	市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただき、計画素案の変更等は行いません。
14	p21	省エネルギー・再生可能エネルギー導入のための施策を具体化すべき。情報提供や支援を行うにとどまるべきではなく、 ・大型開発の規制 ・公的機関での再生エネルギーへの切り替え具体的プログラム ・再生エネルギーの電気導入のための補助金及び国・都への働きかけて実行可能な財政の裏付けを示すものにしてほしい。	ご提案の取組みについては、今後検討を進めていくべきと考えておりますが日野市単独での取組みには課題も多く、国・都の動向を注視しながら対応を検討します。	市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただき、計画素案の変更等は行いません。
15	p21	「緑による気温上昇対策」とはグリーンカーテンや屋上緑化のことでしょうか？イラストはありますが、分かりやすい記述にしていただければと思います。	緑による気温上昇対策は、グリーンカーテンや屋上緑化・庭木や森林など全ての「みどり」を考えております。適切なイラスト・表現へ修正いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。
16	p21	ある程度規模の大きい緑地の存在は緩和策に大きく寄与すると思っておりますので、「緑地の保全・創出」として緑地率を向上させる施策も必要と考えます。	ご指摘いただいた内容に加え、緑地に限らず、樹木など様々なものを含めた内容を考慮すべきと判断し、「みどりの保全・創出」と修正いたします。また関連項目についても記述を修正いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。
17	p22-25	緩和策は「～（緩和策）」、適応策は「～への～にかかわる適応策」として記載が揃っていないのが気になりました。整合できるのであれば統一してください。	適応策を～への適応（適応策）へと統一いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。
18	p23	住宅の断熱性の向上は非常に大切です。住宅相談窓口を設置するのはとてもよいと思っておりますので、具体的に何課に設置するのかを明記したほうがよいと思っております。	現在、都市計画課にて住宅相談を受け付けております。設置ではなく、受け付けていると修正いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。
19	p24	「吸収源としての樹林地や水辺を維持・保全し～」とありますが、より積極的に「吸収源としての樹林地や水辺を維持・保全・創出し～」として吸収源を増加させる施策も必要と考えます。	項番16に示すとおりです。	左記のとおり、計画へ反映します。
20	p24	「エネルギー分野以外での地球温暖化対策実行計画」は誤植と思われます。「エネルギー分野以外での地球温暖化対策」でしょうか。	ご指摘のとおり、修正いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。
21	p24	「気候変動に伴う地球温暖化や～」とありますが、気候変動は地球温暖化が要因ではないでしょうか（地球温暖化に伴う気候変動）。記述が逆様なようです。	ご指摘のとおり、修正いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。
22	p27	二酸化炭素排出量や削減量について、kgをいわれてもピンときません。例えばそれを吸収するにはどれだけの木が必要かといったスギの木換算を併記していただくと、イメージがわかりやすいと思います。ご検討をお願いいたします。	イメージをしやすい表現がないか検討いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。
23	p28	削減効果の例示で削減量の単位が「kg kg-CO2」になっているものがありますので修正してください。	ご指摘のとおり、修正いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。
24	p31	きゅうりの例示は「旬の食材を選ぶことがCO2削減につながる」といった話題ではよく使われる情報ですが、食品ロスの話での例示としては最適ではないと感じます。ここでは日野市のごみの内訳を示し、ごみ全体に占める食品ロスの量や割合、そこから推計される食品ロスによるCO2排出量について記述すべきと考えます。	ご提案いただいた日野市のごみの内訳について、多摩地域ごみ実態調査などのデータから日野市のごみ全体に占める食品ロスの量や割合を推計することは困難です。きゅうりの例示からではなく一般的な内容から食品ロスによる二酸化炭素排出量について記述いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。
25	p32	「環境基本計画やごみゼロプラン等の計画を推進します」ではなく「周知啓発します」ではないでしょうか。	ご指摘のとおり、修正いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。
26	p32	いつどこで周知するのか、タイミングや方法について追記いただくと分かりやすいと考えます。	タイミングや周知方法について記述します。	左記のとおり、計画へ反映します。
27	p34	CCSやCCUSの普及努力は日野市に必要な施策なのではないでしょうか？情報収集や周知啓発することは否定しませんが、国レベルの実証実験の状況や、事業規模、沿岸部ではない地域特性を踏まえると、今回の計画に記載すべき内容ではないと考えます。	2021年10月23日に実施した市民との意見交換会で提出された意見を採用しております。CCS、CCUSはあくまで二酸化炭素回収技術の例として記述しております。	市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただき、計画素案の変更等は行いません。
28	p34	CO2吸収コンクリートの利用促進について書かれていますが、これは市の公共施設に率先して使われているのでしょうか。ぜひ使っていただきたいです。	CO2吸収コンクリートについては、市では現在使用しておりません。国が2021年に紹介・地球温暖化対策計画に記述をしたものになります。今後の公共施設への使用について、検討いたします。	市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただき、計画素案の変更等は行いません。
29	p35	タイトルにある樹木の保全・整備・創出のうち、創出に関する記載が本文にないので追記をお願いします。	「樹木の保全・整備・創出」では内容が不適切と判断し、様々なものを含んだ「みどり」として、創出に関する記述をいたします。	左記のとおり、計画へ反映します。

30	p37	ヒトスジシマカについて「東京都でも目撃されるようになったことから」とありますが、関東地方においてはもともと自然分布しており、昔からよく見かける蚊の一種です。温暖化によって個体数が増加しているデータもありませんのでこの記載は明らかに誤りであり、削除すべきと考えます。 (なお、ウイルスを保有している蚊か否かは外見では判別が付きません)	ご指摘にありました「東京都でも目撃されるようになったことから」を「東京都でも感染が確認されたため」へと修正いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。
31	p42	①CO2グループと推進会議は別なのでしょうか。わかりにくいので説明してください。 ②CO2削減に関しては求め方もまだ統一されておらず、複雑な計算には専門的なアドバイザーが必要かと思いますが、予定はないのでしょうか。	①別々の機関になります。説明を記述いたします。 ②現状、アドバイザーの投入予定はありません。2022年1月に、東京都気候変動適応センターが開設いたしました、そのような専門機関等との連携を今後図ります。	左記のとおり、計画へ反映します。
32	全体	図表の取り扱いが気になりました。以下①～④を整理すると理解しやすくなると思います。 ①グラフの単位がない(p4/p5の%、p11のkg-CO2、p15/p18/p19/p22の年or年度、p18/p19の人など)、②縦軸横軸のラベルがない(p27)、③グラフのタイトルがない(p27)、④図と表の取り違い(p11表3は表ではなく図)、については、ここでページ数を記載したものを以外についても改めて確認いただき修正してください。 このほか、p22のグラフでR32に排出量0となるような記載がありますが、このグラフの縦軸の原点の値は8000+です。限られたスペースの中で同じグラフの中で表現したい気持ちは分かりますが、この作りのグラフでそれをするのはいささか乱暴すぎます。また、このグラフには隣り合う棒グラフの年度が大きく飛んでいる箇所がありますので、近似曲線の記載はすべきではありません。	ご指摘のとおり、内容を確認・修正いたします。	左記のとおり、計画へ反映します。
33	全体	燃えるごみの削減 不燃ごみの削減 市民の意思改革、啓蒙 ペットボトルごみ削減 人にやさしい街づくり テイクアウトごみ削減 SDGsの取組みが知られていない、増やしてほしい コンポストの普及をしてほしい 目に見える形での循環を行ってほしい 防災を含めた環境教育を実施してほしい キャラクターを活用してほしい	左記について、具体的な事例を含めたご意見をいただきました。 ごみゼロプランを含めた実行計画で検討いたします。	市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただき、計画素案の変更等はいりません。
34	全体	①二酸化炭素とCO2の言葉が混在していますが、どのように使い分けているのでしょうか。 ②今後でてくる「環境配慮指針」はどのようなものかわかりませんが、この計画に記載するものとの住み分けはどのようになっているのでしょうか。単なる再掲ではあまり意味がないように感じます。	①引用・参考とした文献・文章で使用されている表現を使用しています。 ②環境配慮指針は、市民・市民団体・事業者が環境に配慮すべき事項を示すものになります。指針によって示されたものを本計画で具体的に説明しております。	市の考え方は左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただき、計画素案の変更等はいりません。